

意見書案第 9 号

早期のパレスチナ国家承認を求める意見書案

上記の意見書案を次のとおり福岡市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和7年10月8日

福岡市議会

議長 平 畑 雅 博 様

提出者 福岡市議会議員

綿 貫 康 代

井 上 ま い

前 野 真実子

田 中 たかし

倉 元 達 朗

早期のパレスチナ国家承認を求める意見書

中東地域において長年続くイスラエル・パレスチナ問題は、多くの人命を奪い、国際社会全体の平和と安定を脅かしてきました。

この問題を解決する唯一の道は、イスラエルとパレスチナが独立した主権国家として共存する「2国家解決」です。その実現に取り組むことを表明した「ニューヨーク宣言」は、日本を含め142か国が賛成しました。「ニューヨーク宣言」ではパレスチナ国家承認はその不可欠な要素だと明言されており、すでに国連加盟国の8割以上の国々が国家承認を行っています。

日本がパレスチナを国家承認することは、中東地域の安定に資するだけでなく、国際社会において平和外交を重んじる国としての姿勢を明確に示すことになります。早期承認を決断することは、日々理不尽に命が奪われるなど人道危機が続いているパレスチナ自治区ガザの人々を救う行動であり、国際的責務です。また、平和国家としての理念にも合致するものです。

よって、福岡市議会は、政府が、パレスチナ国家を早期に承認し、2国家共存の実現に向けた国際努力を後押しされるよう強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 年 月 日

内閣総理大臣、外務大臣 宛て

議 長 名